

サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 あて

提出日: 2024年 3月 27日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			
	○	小規模多機能型居宅介護	○	介護予防小規模多機能型居宅介護
	看護小規模多機能型居宅介護			
事業所番号	4490300045			
事業所名	寄り合いセンターいずみ			
法人名 代表者名	社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 理事長 富永 健司			
事業所所在地	(〒871-0007) 中津市蛸瀬 647-1			
担当者名	河野 英之			
連絡先	電話	0979-64-9055	FAX	0979-23-8330
	mail	h.kawano@izuminosono.jp		

以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	2024年 3月 25日
-----------------	--------------

「※要提出」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表…………… 公表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-1) スタッフ個別評価…………… 事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-2) 事業所自己評価…………… 公表
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-3) 地域からの評価…………… 事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-4) サービス評価総括表…………… 公表

看護小規模多機能型居宅介護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙3-1) 従業者等自己評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙3-2) 事業所自己評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙3-3) 運営推進会議における評価…………… 公表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月15日(16:00~17:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	河野、中島、江田、伊藤、谷口、中村、林、橋内、馬場、尾上、厚ヶ瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	3人	人	人	11人

前回の改善計画

- ・出勤者全員が揃う午後より、申し送りを実施すると共に社内メールにて情報展開実施。
- ・管理者、計画作成担当が新しい利用者情報を記録に残し、メールの他に口頭で職員に伝え申し送りの徹底を図る。
- ・職員全員に個別研修計画を作成し、個別研修も随時実施しレベルアップを図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・申し送り、社内メールやホワイトボードのメモ等、日々変化する情報を細かく共有出来ることに努めた。
- ・職員のレベルアップについては個別研修計画を作成し、活用できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	3			11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7	4			11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	3			11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	5			11

できている点

- ・アセスメントシートによる情報収集、ミーティングや会議での確認でニーズを把握している。
- ・送迎時や訪問時に、本人、家族の様子を伺い、困り事や要望を聞き出すことに努めている。
- ・出勤時に社内メール、ホワイトボードにて情報を把握している。
- ・新規利用者の台帳に目を通し情報確認している。モニタリングで問題点などを抽出できている。
- ・本人とよく話し、望みや嫌なことを聴きだし、出来る範囲で対応している。
- ・アセスなどで事前に情報を得て、イメージを膨らませ、コミュニケーションを積極的にとるようにしている。

できていない点

- ・得た情報がしっかり頭に入っておらず、覚えるまで時間がかかる。
- ・家族や相談員の情報と異なることがあり、必要な支援の準備が十分に出来ていない事もある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・出勤者全員が揃う午後より、申し送りを実施すると共に社内メールにて情報展開実施。
- ・管理者、計画作成担当が利用者の支援方法や情報を、メール等の他に口頭で職員に伝え申し送りの徹底を図り、ケアの統一を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月15日(16:00~17:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 河野、中島、江田、伊藤、谷口、中村、林、橋内、馬場、尾上、厚ヶ瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	3人	2人	0人	11人

前回の改善計画

- ・業務改善の実施。
- ・ケアマネとは別の担当者を設定し複数職員でニーズに向き合っていく。検討、設定した目標を全職員に周知できるように会議等を有効活用する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・業務改善は実施できている。
- ・個別目標達成に向け、毎月モニタリングの実施は出来ており、可能な限り個別対応は出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	7	2		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		9	2		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		9	2		11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	9	2			11

できている点

- ・利用者や家族の希望について職員間共有し、アドバイスし合いながら実行している。
- ・関わり方や結果をサイボウズ等で共有し、会議で話し合いをしている。
- ・ミーティング等において気づきや疑問は確認している。

できていない点

- ・ご利用者の対応より業務に追われ、個別での支援に向き合えないことがある。
- ・情報は得ているが、個別に向き合い支援する時間が作れていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・必要に応じて業務改善をし、利用者に向き合える時間を確保し、個別対応・支援が出来るように満足度を上げる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月15日(16:00~17:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	河野、中島、江田、伊藤、谷口、中村、林、橋内、馬場、尾上、厚ヶ瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人	人	人	11人

前回の改善計画

利用当初に聞き取れた情報だけでは不十分な面が多い、また、本人を取り巻く環境や家族の意向なども様々な為、随時社内メール等で情報共有を図り、当初のアセスメント情報から更に情報を積み重ねていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・利用前の情報と実際に関わる際のギャップが大きい為、ケアマネを中心に情報を共有し、情報の積み上げを実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	7	2	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		9	2		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	4			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	3			11

できている点

- ・本人の訴え、体調の変化があった時は上司に報告した上で社内メールなどを活用し、情報共有に努めている。
- ・ご利用者の心に沿った介護を心掛けている。
- ・メール、ミーティング等でチェックをしメモをして、曖昧な点は確認している。
- ・本人から聞き出した情報は、その場で話題にし、他のスタッフに情報共有している。

できていない点

- ・本人の気持ちをつかもうと興味のあるような会話を心掛けているが、まだつかめていない。
- ・独居の方で家族が遠方にいるとコミュニケーションをとる事が難しく、情報が少ないことがある。

次回までの具体的な改善計画

- ・ご利用者と関わる時間の確保や、日々のレクリエーション等の活動で楽しみや生きがいを持って頂く。
- ・ミーティングや申し送り、メールなどで情報を共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月15日(16:00~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 河野、中島、江田、伊藤、谷口、中村、林、橋内、馬場、尾上、厚ヶ瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	1人	11人

前回の改善計画

家族の状況や地域の資源については概ね理解できているが、上手く活用できていない為積極的に地域資源を活用していく。また、ジェノグラム等を活用し、生活背景の見える化を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・コロナ禍で地域資源が活用しにくい状況にあった。
- ・地域資源の活用については、あまり活用できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	6		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	8			11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	6	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			5	6	11

できている点

- ・生活スタイルや人間関係はアセスメントシート、定例会議の中で情報を得ている。
- ・地域密着型の施設という事で、特に地域の方への挨拶は心掛けている。
- ・家族が来られた際は、積極的に話しかけ変化を聴きだし情報共有している。

できていない点

- ・在宅での過ごし方や生活歴について、把握できない部分がある。
- ・地域資源の情報のシェアがない。

次回までの具体的な改善計画

- ・蛸瀬周辺の地域資源の把握は出来ている。ご利用者の生活に役立てるように、他の地域での情報収集も行い、活用できるようにする。
- ・地域資源について勉強する機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月15日(16:00~17:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	河野、中島、江田、伊藤、谷口、中村、林、橋内、馬場、尾上、厚ヶ瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人			

前回の改善計画

多様性のある柔軟な支援については概ね実施できているが更なる対策として
 ①多様性のある柔軟な支援については通い・訪問・宿泊の現状サービスを継続。
 ②柔軟な支援体制が構築できるよう、定期的に業務プログラムの見直しを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

・本人や家族の状況に合わせて、多様性のある柔軟な支援が実施できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	6		2	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	3	1		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	6			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	5			11

できている点

- ・ご利用者の変化に応じて通い、訪問、宿泊等、スムーズに業務を行えている。
- ・急な依頼に対しても柔軟な対応でサービス提供できている。
- ・利用者の体調や日々の様子に合わせて対応を変えている。
- ・ご利用者、家族の幸せを常に心がけている。

できていない点

- ・自分たちの事業所だけで支援を完結して、地域の資源の活用は出来ていない。
- ・地域資源をよく理解できていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・在宅生活継続支援という小規模の役割を再認識し、自宅で生活できるような仕組みを作り、安心して生活して頂けるように支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月15日(16:00~17:00)

6. 連携・協働

メンバー 河野、中島、江田、伊藤、谷口、中村、林、橋内、馬場、尾上、厚ヶ瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	2人	9人	人	11人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 多職種や他の機関との更なる連携の為、 ①医療機関のソーシャルワーカーとの連携 ②地域ケア会議の傍聴や参加を実施。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> 大分県小規模多機能連絡会の合同研修等はZOOMを活用し参加できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		2		9	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			2	9	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		2	9		11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				11	11

できている点
<ul style="list-style-type: none"> 他団体の歯科健診の実施、地域行事の参加は出来ている。 地域の子供達や物づくりの講師、登録者の知人が訪れる。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> 業務上、他の事業所、地域の行事に参加できるスタッフは限られてしまう。 学童などとの交流は実施できない状況。 地域の行事等は概ね従来の形に戻りつつあるが、感染拡大を懸念するあまり参加しにくい状況。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 職種やスタッフ数の関係で、スタッフ全員が様々な会議に出席する事は難しい。よって参加したスタッフが責任もって伝達講習を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月15日(16:00~17:00)
7. 運営	メンバー	河野、中島、江田、伊藤、谷口、中村、林、橋内、馬場、尾上、厚ヶ瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	5人			11人

前回の改善計画

職員との意見交換について、定期的に個人面談を行い、事業運営や個人の目標等、意見を伝えやすい環境を整える。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者や家族からの意見を真摯に受け止め、具体的に対策をとることが出来た。
- ・課長、主任どちらかが出勤している勤務を組むことで報告・連絡・相談がスムーズに取れている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	3	8			11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	4			11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	1	4	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		6		5	11

できている点

- ・職員とは会話のしやすい雰囲気づくりをしている。
- ・意見や苦情は直ぐに聞き入れ対処している。
- ・些細な事でも聞く環境は出来ている。
- ・上司とは困ったことがないか、体調はどうかなどの話はできているので安心して意見を言っている。

できていない点

- ・地域の方から意見や苦情はあまり把握していない。

次回までの具体的な改善計画

- ・職員との意見交換について、定期的に個人面談を行い、事業運営や個人の目標等、意見を伝えやすい環境を継続して整える。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月15日(16:00~17:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	河野、中島、江田、伊藤、谷口、中村、林、橋内、馬場、尾上、厚ヶ瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人			11人

前回の改善計画

- 職場内研修の充実と職場外研修機会の確保の為、
- ①ロールプレイを交えた具体的な研修機会の確保。
 - ②職場外研修について、可能な限り全スタッフに割り振る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・研修が集中しないように可能な限りスタッフ個別に割り振ることができた。
- ・自主研修の案内は多々あるが、交代勤務であり思うように出席できていない。
- ・コロナ禍と言う事もあり、研修の開催が困難な時期もあり、予定通りには開催出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	8	3			11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか			2	9	11
③	地域連絡会に参加していますか			2	9	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	5	2		11

できている点

- ・毎月の会議で行う勉強会や定期的に行われる園全体の研修に参加できている。
- ・上司からの指示は、常にメールや口頭で共有できている。

できていない点

- ・地域の連絡会に管理者やケアマネしか参加できていない。
- ・勤務優先な為、会議に参加出来ない事がある。

次回までの具体的な改善計画

- ・外部研修参加が困難な事も想定し、様々な内容の研修を内部研修で開催できるように計画する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月15日(16:00~17:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	河野、中島、江田、伊藤、谷口、中村、林、橋内、馬場、尾上、厚ヶ瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	2人		人	11人

前回の改善計画	<p>スタッフの入れ替わり等もあり、継続して人権・プライバシーの研修は実施する。</p> <p>①内部研修計画に組み込み、研修漏れの無いよう実施する。</p> <p>②個人情報の管理について、意識が薄れないよう、定期的に振り返りを実施する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・内部研修等で、必要な研修機会の確保が出来ている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11				11
②	虐待は行われていない	11				11
③	プライバシーが守られている	11				11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9	2			11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11				11

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルを整理し、全スタッフがいつでも閲覧できる環境はつくれている。 個人情報等の取り扱いには注意している。 拘束や虐待は勉強会を行っている。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度については現在、対象者がいない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 様々な制度を常日頃から意識し学ぶことで、必要な時に制度活用がスムーズに出来る状況を作る。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団	代表者	富永 健司	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・田園地帯に囲まれた景観を損なわない和風建築であり、地域との調和が出来ている。 ・かきぜサポートセンターとして、敷地内に高齢者、児童、障がい者、子育て親子の支援、地域住民との交流拠点等があり、共生型の事業を展開している。 ・蛸瀬自治会に加入し、地域密着型事業所として運営している。
事業所名	寄り合いセンター いずみ	管理者	河野 英之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	1人	1人	人	4人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	中堅やベテランの職員に対して特に教育していくシステム作りを行う。	エルダー制度や個人の研修計画などで職員教育は実施出来ている。今後も継続して実施していきたい。	気持ちの良い挨拶でいつも迎えて頂いている。	年間計画で様々な教育システムを構築している。今後は適切な職員に随時実施し、成果の確認まで実施していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	設備の補修、備品の管理に努め、利用者及び来客者、スタッフが快適に過ごせるよう努める。	開設14年を経過し、設備の老朽化があり、修繕費を予算計上している。補修などを実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな和風建物。 ・至る所に生花が飾られ雰囲気が良い。 	設備の補修は随時対応し、利用者が快適に、また職員も安心して働けるように継続して努める。
C. 事業所と地域のかかわり	家族や地域住民にかきぜサポートセンターへ来て頂ける行事等を検討する。	感染症のリスクはあるが、行事の計画、地域行事等にも積極的に参加している。	蛸瀬にあるいずみの園として住民の意識は定着している。	地域行事への参加は継続しつつ、家族や地域住民にかきぜサポートセンターへ来て頂ける様に実施している行事の周知を継続して行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域に出向いて事業所だけに閉じ込めず、外に出る機会を定期的に確保する。	必要に応じて家族以外の近隣支援者と連携し、自宅での生活を支えることに努めた。	寄り合いセンターの事業所も地域の一員として定着している。	感染症の状況を見てではあるが地域に出向いて本人の暮らしを支えられるよう、外に出る機会を定期的に確保する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を事業所と地域の情報交換の場とし、継続して協力体制に努める。	第三者の新たな視点で意見交換を実施することが出来た。さまざまな意見を聞き、取り入れる事ができた。	運営推進会議があることで、地域との交流の場ができ、地域行事を報告する機会にもなり、協力体制が築けている。	引き続き運営推進会議を事業所と地域の情報交換の場とし、地域との関わりの重要な会となるように努める。
F. 事業所の防災・災害対策	事業継続計画に基づき、実際の避難を想定した、訓練を継続的に実施する。	年々災害は決して他人事ではないと実感している。	蛸瀬地区の自主防災組織の活動も連携して行う必要がある。	来年度以降も総合防災計画に基づき、実際の避難を想定した、訓練を継続的に実施し災害に備える。